



ONGAKU

～ 音 で 笑 顔 に ～

例年に無く長い猛暑が続きました。その分、季節が急展開するように涼しくなり、やっと過ごしやすい時期になりました。10月の初め、月参りに近所の神社を参拝して境内の大木を眺めていると、少し離れた所から「ポトリ…」と音がしました。音がした辺りの地面を見ると、沢山のドングリが落ちていました。中には緑色の物もあります。ドングリ拾いをしているとまた「ポトリ」。何とも言えない秋の音に季節の巡りや命の循環を感じました。

【活動報告】

「真夏の夜に竹の音が響く！」

2023年7月16日（日）夜

中野区立中野本郷小学校では毎年この時期に防災訓練の一環として夕方から翌日にかけて地域のイベントを行っています。今回は2年振りの開催です。このイベントの中で



竹を使ったアンサンブルを行うコーナーがあり、今回もその活動を任されました。ここで使った竹はこの小学校の裏に生えている竹で、10日ほど前に切って事前に用意しておいたものです。

日没が過ぎ、辺りが薄暗くなるといよいよ始まりです。低中高の各学年ごとに竹を演奏する順番が回ってきます。竹は節がある方を下にして地面や階段に打ち付けて音を出します。誰かが自分のリズムを繰り返し打ち始めると、思い

思いのタイミングで自分のリズムを重ねていきます。音の重なりがどんどん積み重なって校庭や学校の周辺の暗闇に広がって行きます。とても暑い夜でしたが、竹の響きに心地よく包まれていきました。子どもは学年で入れ替わるのですが、私達はずっと音を出し続けていたのでクタクタです。でも、親子で竹を打ち合ったり、得意げに自分のリズムを叩いて楽しんでいる様子を見てると楽しくなり、エネルギーをもらえて嬉しくなりました。子供達の後には大人の方にも参加していただき、竹の音を存分に楽しんでもらいました。



「みんなで楽しむ ONGAKUcafe」

2023年7月22日（土）13:30～

昨年のコンサートに続き、今年はワークショップとして本 NPO 主催の「ONGAKUcafe」を行いました。会場は中野駅にほど近い「中野区産業振興センター」の大会議室です。大人30人、子ども7人、幼児6人が参加。cafe なので会場の後方には、お茶類やお菓子が置かれたコーナーが用意されていて、活動中に自由に飲んだり食べたりすることができました。

今回は①「音を聴く」②「音を作る」③「音を出す」の三部構成。「音を聴く」では各

テーブルに用意された「プルタブ」や「リンク（ボトルに付いている金属製の蓋を外した時に残るリング状の部分）」を各自で聴きました。1～数个をテーブルに落とし、耳元で聴きます。「身近な物で素敵な音」は本会の「売り」。何度も確かめるように、その音に耳を傾けていました。また、「ポケション」もテーブル毎に7種類用意しました。ガーゼの中に入れた物は、プラモデルの残りの部品・鉛筆キャップ・ミルクポーション・酒蓋・竹の割り箸を切った物・ストローを切った物・ペットボトルのキャップ。7種類の音を自分で聴くことができ、じっくりと音を楽しむことができました。音を「意識して」聴き、「音の存在」に改めて気付くことで自分の世界を広げてもらえたように感じました。



「音を作る」ではストロー笛、スーパー紙鉄砲、風飛行機の完成品を配り、直ぐに音を楽しめるようにしました。クニポン（池田理事長）が繰り広げるお得意のストロー笛のパフォーマンスはいつものように「大受け」で参加者の心と耳と目を釘付けにしました。

「音を出す」ではまず自由連弾。クニポンと一緒に即興で自由に音を出してキーボードを連弾します。第1奏者、4歳のチヒロ君は生後数ヶ月から定期的に江古田の杜でこの連弾を経験しているベテラン！？です。大勢の前でも緊張することなく、正に自由に思いのままに音を出していきます。続く高齢の女性2人も「それぞれの音」を表現し、クニポンの絶妙な合わせが加わって素敵な音の世界が広がりました。聴いている人達はこの3人の奏者の演奏に感激し、笑顔になっていました。最後の奏者は初体験の5歳の男の子。全く物怖じせず、初対面のクニポンとの競演を楽しんでいました。

本 NPO では「心の解放」が目指していることの1つです。「こうあらねばならぬ」という意識ばかりが多く働いてしまう日常ですが、その事から解放されて「思うがまま」に表現すること。子どもは音を楽しむ名人とも言えますが、「大人が楽しむ」ことが大切。大人が音を楽しんでいる姿を子どもが見て感じることは、子どもの成長にとって大切なことです。また、子どもが自由に音を楽しんでいる姿を大人が受け入れ、認めること。「あなたのそれがいいね！」と伝えることは、子どもの自己肯定感を育む事にも繋がります。

今回は小中学生や幼児も参加していたので、アッキー（斉藤副理事長）が「キッズコーナー」を行いました。リズムに乗せて子どもの名前を呼び「ハイ！」と答えたり、ブービー（風船とストローで作ったブービー吹く楽器）のプレゼントがありました。これには子ども達も大満足！その後はアッキーお得意の「曲に合わせて踊る」や全員で「好きな音を出して重ねる」アンサンブルで、大いに盛り上がりました。



「千葉県養護教諭一日研修会」

2023年7月26日（水）

毎年行われているこの研修会、昨年は半日でしたが今年は連年通り9時から16時半までの一日研修となりました。常連の先生も新任の先生もいて、いつも活気に満ちています。マリンカン作りや風飛行機、スーパー紙鉄砲はお馴染みですが、どれも毎回進化

を遂げ、参加者の誰にとっても「う〜ん、なるほど！」と思わせてしまいます。マリンカンの防水方法、風飛行機の折り方、紙鉄砲のカバーなど、その新たなアプローチと効果は抜群です。

時間がタツプリアったので、グループ活動が充実しました。①「曲に合わせて振り付けて踊ろう」②「竹（トガトン）でアンサンブルづくり」を行い、練習時間は長くなかったものの、4つのグループがそれぞれの発想と協力で実に楽しい「身体の動き」と「音の重なり」を生み出してくれました。やはり自分たちの力で「自由につくる」ことが一番の研修になることを実感しました。



糸電話の応用で「ジェット機の音！」



「民音夏休みキッズプログラム」

2023年7月27日&29日

民主音楽協会の夏期の恒例行事、キッズプログラムの一環として「親子のための手作り楽器」を四谷地域センターで行いました。まずは親子でマリンカンを作り。マリンカン作りでは、いつも子どもの「思いのまま」の豊かな発想と多彩な表現に驚かされます。大人からすれば「これでいいの？中途半端な！」と思われるものでも、子どもは「これでいい！」と言い切れる「自由さ」をもっています。この「思いのまま」を認め大切にしてください、と池田理事長は訴えます。親子で行う活動だからこそ実感と共に受け止めることができる大切なことです。その後、親御さんは「風飛行機」を作って飛ばし、子どもは「ビーブー」を作って



自作のビーブー

楽しみました。風飛行機の飛行に夢中になっている姿に向かって、子ども達はビーブーの音を飛ばします。自作自演のその音に満足げな表情がとても印象的でした。

親に向かってビーブーを得意げに吹く子ども達



【今後の活動予定など】

～ご参加などについては、本会事務局までご連絡ください～

★江古田の杜：おひさまリトミック（第2木曜と第3日曜） 11：00～11：40

日曜に限り参加希望者多数の場合は10:00～10:40も有り

11/19（木）・26（日） 12/7（木）・17（日） 1/11（木）・28（日）

★「繭結」にて自由連弾 12/17（日）14：00～15：00

◆その他の予定については今後決定するものもあります。詳細等についてもホームページをご覧ください。

新賛助会員のご紹介

2023年5月以降に賛助会員になってくださった方をご紹介します。

藤 カズ子様 鈴木 義子様

ありがとうございます。今後ともご支援のほど、よろしくお願いいたします。

< 賛助会員を募集しています！ >

本会の活動は殆ど全て会員の皆様の会費で賄われています。本会の事業の趣旨に賛同し、ご支援していただける方は、是非賛助会員になってください。現会員の方は、お知り合いの方などにお声をおかけください。賛助会員になってくださる方（または誘ってくださった会員の方）は、まず下記の事務局までご連絡ください。

賛助会費は、年間3000円です。よろしくお願い致します。

振込先

- | |
|---|
| ① ◆三菱UFJ銀行 向島支店 ◆口座番号：普通 0088065 ◆名義名：エヌピーオウハウジンオトラタノシムオンガクノカイ |
| ② ◆ゆうちょ銀行 ◆口座記号：10090 口座番号：18396671 ◆加入者名：トクヒ）オトラタノシムオンガクノカイ |

NPO法人 「音」を「楽」しむONGAKUの会

〒131-0032 東京都墨田区東向島2-34-12 サニーフラット202号

PHONE & FAX：03-3610-2292

E-mail otoiawase@oto.or.jp

URL：http://www.oto.or.jp/

facebook：https://www.facebook.com/ototano/

